

株主の皆様へ

2010年3月期決算報告

2009年4月1日～2010年3月31日



株主の皆様へ



株主の皆様、日ごろは格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。2010年3月期の当社グループ業績についてご報告させていただくにあたり、ご挨拶申し上げます。

2010年3月期においては、アルミニウム圧延業界全体として、上半期まで景気後退の影響が強く残りました。景気の底入れとともに、下期に入り回復傾向に転じたものの、アルミニウム圧延品需要全体では、当期は前年同期比10%弱の減少となりました。当社グループにおいても同様に、売上数量が前年同期比5%弱の減少となりました。

このような中、当社ではグループ一丸となって、板圧延事業の構造改革や日本製箔株式会社の完全子会社化と一部事業の再編など、損益の維持、回復にむけた様々な事業構造改革と改善施策に取り組んでまいりました。

その一方で、国内において、電池分野などの新たな需要拡大への布石を打つとともに、海外では、

中国の圧延メーカーに資本参加したほか、タイ国に自動車熱交換器用途向けを主目的として100%出資のコイルセンターを設立するなど、アジア地域での自動車需要をはじめとする、グローバルレベルでの伸びる分野への対応強化を進め、将来を見据えた事業基盤の強化策も着実に実行してまいりました。

この結果、前年同期比では減収減益であるものの、上期から下期にかけて売上高、営業利益とも大幅に改善し、売上高1,856億円、営業利益6億円となりました。

このような状況に鑑み、当期の中間配当は見送らせていただきましたが、期末配当は1株当たり2円とさせていただきます。

当社は、昨今の大きな環境変化も踏まえて2010～2012年3ヶ年の新中期経営計画を策定し、この4月に発表いたしました。その中で、「アジアNo.1の魅力あるカンパニー」を目指し、収益力・財務体質・技術力・人材力をその指標として各種の取り組みを進めることを中長期の経営ビジョンに掲げたところですが、今後、足元の経営基盤の強化とともに、この実現に向けて邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2010年6月

代表取締役社長

新中期経営計画の概要

当社グループは、新たな飛躍を目指すことを目的に、2012年度を最終年度とする新中期経営計画を策定し、4月8日に発表いたしました。

2012中期経営計画

中長期経営ビジョン

グローバルカンパニーとして、経営基盤、事業規模のさらなる強化、拡大を図り、アジアNo.1の魅力あるカンパニーとなる

収益力 No.1

財務体質 No.1

技術力 No.1

人材力 No.1

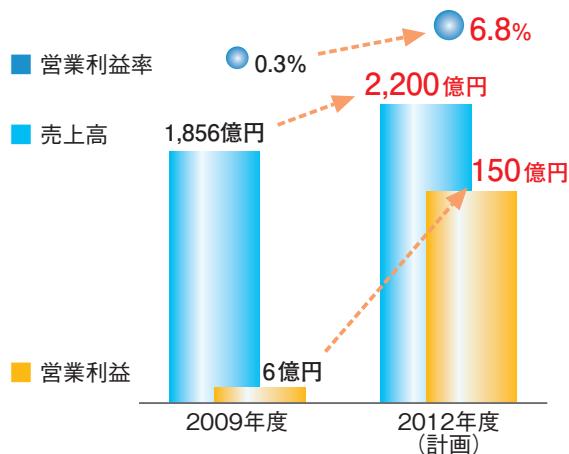
2012年度の数値目標

売上高	2,200億円
営業利益	150億円
営業利益率	6.8%
D/Eレシオ	0.8
売上数量	単体 447千トン

基本方針

業容拡大に向けた事業基盤の強化と新たな飛躍への第一歩

- ◆国内事業……既存事業の構造改革の推進
事業基盤の強化
- ◆海外事業……成長する海外市場への的確な対応
- ◆新規製品……成長製品、次世代製品への事業対応



当期の概況

連結売上高 1,856億円

(前年同期比18.8%減)

上期の売上数量減少等の影響を下期で補うことができず、売上数量は前年同期比で約5%の減少、その結果、前年同期と比べ減収となりました。

連結営業利益 6億円

(前年同期比31.1%減)

上期の売上数量減少等の影響が残り、前年同期と比べ減益となりました。

連結当期純損失 △8億円

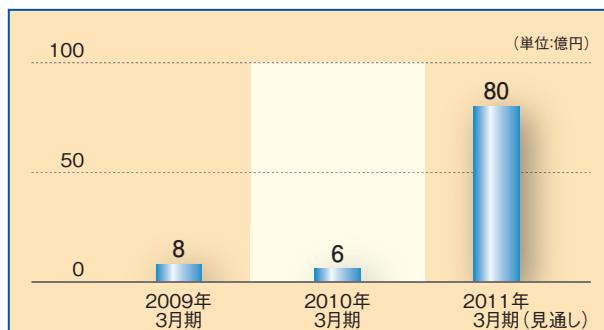
(前年同期は当期純損失115億円)

来期の業績予想に鑑み税効果会計を適用した結果、繰延税金資産を計上することとなり、前年同期比で大幅な改善となりました。

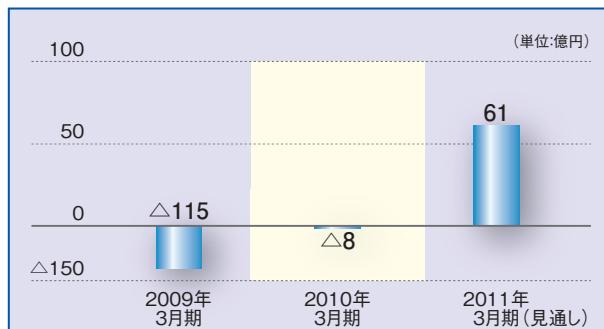
■ 連結売上高



■ 連結営業利益



■ 連結当期純利益及び純損失 (△)



財務データ

■ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 期 (2009年 3月31日)	当 期 (2010年 3月31日)
資産の部		
流動資産	79,533	89,239
固定資産	114,110	110,938
有形固定資産	106,708	97,828
無形固定資産	1,937	2,409
投資その他の資産	5,466	10,701
資産合計	193,644	200,176
負債の部		
流動負債	84,535	85,699
固定負債	52,419	54,861
負債合計	136,954	140,560
純資産の部		
株主資本	60,388	59,162
資本金	16,528	16,528
資本剰余金	35,184	35,184
利益剰余金	8,676	7,452
自己株式	△ 1	△ 2
評価・換算差額等	△ 5,352	△ 31
その他有価証券評価差額金	△ 30	169
繰延ヘッジ損益	△ 4,915	47
為替換算調整勘定	△ 407	△ 247
少数株主持分	1,654	486
純資産合計	56,690	59,617
負債純資産合計	193,644	200,176

(注) 記載金額は、単位未満を四捨五入しております。

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 期 (皇 2008年 4月 1日 自 2009年 3月31日)	当 期 (皇 2009年 4月 1日 自 2010年 3月31日)
売上高	228,637	185,588
売上原価	209,638	168,182
売上総利益	18,999	17,406
販売費及び一般管理費	18,169	16,834
営業利益	830	572
営業外収益	643	445
営業外費用	2,057	1,677
経常損失 (△)	△ 584	△ 660
特別利益	420	81
特別損失	4,524	2,494
税金等調整前当期純損失 (△)	△ 4,687	△ 3,072
法人税、住民税及び事業税	271	537
法人税等調整額	7,467	△ 2,783
少数株主損失 (△)	△ 925	△ 56
当期純損失 (△)	△ 11,500	△ 770

(注) 記載金額は、単位未満を四捨五入しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 期 (皇 2008年 4月 1日 自 2009年 3月31日)	当 期 (皇 2009年 4月 1日 自 2010年 3月31日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	14,293	13,337
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,391	△ 12,509
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,831	△ 190
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 72	7
V 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 1,001	646
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,466	3,465
VII 現金及び現金同等物の期末残高	3,465	4,111

(注) 記載金額は、単位未満を四捨五入しております。

① タイにスリッター工場を設立



2月4日（木）、タイ国バンコク近郊に、100%出資のコイルセンター FURUKAWA-SKY ALUMINUM (THAILAND) CO., LTD.（社長：長南邦年）を設立しました。自動車熱交換器用アルミニウム製品の加工販売の拡大を主な目的としたもので、当社国内工場、および中国の板圧延合弁会社からの素条をスリッター加工することからはじめ、顧客ニーズにあわせて、今後機能を充実拡大していく予定です。

東南アジア・インド地域における自動車需要は、今後大きな伸びが予想されます。当社は当該地域での直接事業化を通じ、自動車熱交換器用をはじめとするアルミニウム圧延品の需要拡大に積極的に対応し、顧客開拓を図ります。

② 国際二次電池展に出展

3月3日（水）～5日（金）に東京ビッグサイトにて、「第1回 国際二次電池展」が開催され、当社は日本製箔株式会社、古河電気工業株式会社銅箔事業部と共同で出展しました。当社グループのブースへの来場者は1,500人を超え、大盛況の展示会となりました。

国内外の自動車メーカーおよびバッテリー関連メーカーから多数ご来場いただき、当社のリチウムイオン電池（LIB）ケース材、ヒートシンクをはじめ、日本製箔、古河電工両社のLIB電極材に大きな関心が寄せられていました。



「古河スカイIRニュース」 配信のお知らせ

古河スカイIRニュースの配信を開始いたしました。ご希望の方には、タイムリーな当社IR関連情報をメール配信させていただきます。古河スカイホームページトップページより、ご登録ください。



企業情報

◆株式の概況

■株式の状況 (2010年3月31日現在)

発行可能株式総数…………… 400,000,000株

発行済株式総数…………… 227,100,000株
(自己株式12,107株を含む)

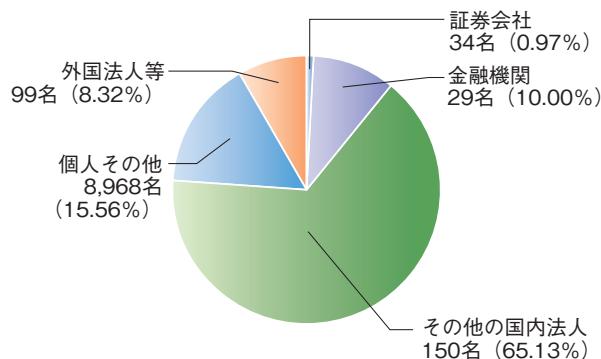
株主数…………… 9,280名

大株主

株主名	持株数	持株比率
古河電気工業株式会社	120,365 ^{千株}	53.00%
新日本製鐵株式会社	18,700	8.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6,399	2.81
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,797	2.55
古河スカイ従業員持株会	3,897	1.71
モルガンスタンレーアンドカンパニー インターナショナルピーエルシー	2,273	1.00
丸紅株式会社	2,271	1.00
三井物産株式会社	2,271	1.00
バンクオブニューヨーク・シー・エムクライアントアカウント ジェイビー・アル・デイ・アイ・エス・ジー・エフイー・エイシー	1,774	0.78
パークレイズ キャピタル セキュリティーズ ロンドン・ケイマン・クライアーツ	1,756	0.77

(注) 持株比率は自己株式 (12,107株) を控除して計算しております。

所有者別の構成比率 (株式数比率)



◆会社概要

■会社概要 (2010年3月31日現在)

社 名 古河スカイ株式会社

ホームページ <http://www.furukawa-sky.co.jp/>

事業内容 アルミニウムおよびアルミニウム合金の製造、
加工、販売

設 立 2003年10月

資 本 金 165億2,840万円

従業員数 2,022名

■役員 (2010年6月25日現在)

代表取締役社長	吉原正照
代表取締役専務	松岡建
専務取締役	鶴堀憲二
常務取締役	西辻孝三
常務取締役	楠本昭彦
常務取締役	岡田満
取締役	内藤秀彦
取締役	長南邦年
取締役	渡辺幸博
取締役	長谷川久
取締役	中野隆喜
取締役	田中清
常勤監査役	石原宣宏
監査役	櫻日出雄
監査役	菅野幹宏
監査役	森高弘

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取以外の株式売買はできません。

公告方法 電子公告（<http://www.furukawa-sky.co.jp/>）
（やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。）

○確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。